

澁野辺総合病院

地域連携NEWS

メディカルサポートセンター
地域医療連携課

助産師外来のご紹介

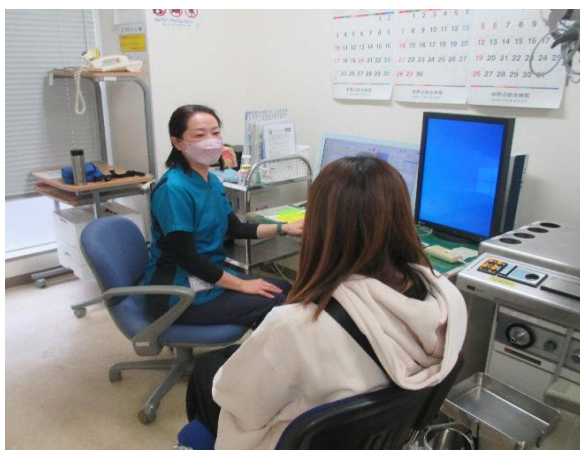
助産師 鈴木 亜矢子

澁野辺総合病院の産婦人科は、昨今の少子化の影響で分娩件数が減少し、年間200件を下回っています。分娩件数は減少していますが、高齢妊婦・ハイリスク妊婦の増加、精神疾患合併、社会的サポート不足など、妊婦のバックグラウンドは複雑化しており、妊産褥婦への密なかかわりが求められています。医師と協働し母子ともに安心安全な分娩を行えるよう、医師の診察のほかに、助産師外来で助産師による相談や指導を行っています。

助産師外来は病棟助産師が担当しており、周産期を通じた継続的なケアによる安心感、信頼感の提供に努めています。

外来スタッフが妊娠初期に全ての妊婦と面接を行い、ハイリスク妊婦に関しては、早期に助産師が介入できるようなシステムを構築し、チーム医療を提供しています。

また当院で分娩した方限定にはなりますが、産後のメンタルヘルスに影響するといわれている授乳のサポートとして母乳外来を提供していますが、産後2週間健診と同時に行うことにより、「赤ちゃんが順調に成長していて安心した」「退院してから不安だったけど、上達してるって言われて自信がついた」など褥婦さんたちからは好評です。



＜助産師外来＞



＜産婦人科病棟スタッフ＞

